

用 地 課

用 地 係

用 地 係

国土庁が発表した地価公示によると、年間の市内の標準地の地価変動率は、平均7.80%の減少になった。

これは日本経済が低成長期に入り、金融機関の融資の規制が厳しくなり投機目的の土地取引が激減した結果と思われる。

昨年に比べて、地価変動率（下落）は少し落ち着いて来たが、商業地については依然として地価下落が続いているのが現状である。

しかし、住宅地については住宅取得促進により低金利政策が取られているため、マンション用地等の取得が徐々に活発になってきている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に確保して行かなければならないが、地価は一時期よりは低くなったが、依然として高値にあるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であってもメリットがない場合には、売り惜しみの傾向が出て来ている。

このような状況の中で、本年度は熊川緑地（仮称）新設事業用地、わかたけ公園（仮称）新設事業用地のほか道路用地等を取得した。

名 称	買 収				物件等補償		備考
	所 有 数	筆 数	面 積	金 額	所 有 数	金 額	
熊川緑地(仮称) 新設事業	人 1	筆 7	m ² 574.02	円 172,024,402	人	円	
わかたけ公園 (仮称)新設事業	1	4	613.96	269,414,462			
ほたる公園 改良事業	5	1	320.00	76,800,000	5	3,001,000	
牛一公園(仮称) 新設事業	1	3	460.90	171,309,400			
駐車場等用地 取得事業	1	1	132.28	46,298,000	2	14,033,470	
駐車場等新設事業 代替用地取得事業	1	1	198.34	12,008,222			
牛浜駅東口自転車 駐車場(仮称)新設事業	1	1	786.28	284,317,208			
市道第40号線 拡幅事業	2	3	122.75	44,363,796	3	63,846,967	
市道第165号線 拡幅改良事業	1	1	13.69	2,342,807	1	180,250	
市道第231号線 拡幅事業	20	25	117.54	19,577,273			
市道第1053号線 拡幅事業	2	2	9.51	437,460	1	431,935	
市道第1184号線 拡幅事業	17	21	177.68	35,056,765	1	267,800	
市道第1192号線 拡幅事業	1	1	14.62	1,660,601			
市道第1204号線 拡幅事業	2	3	114.87	5,479,860	1	30,076	
市道第1250号線 拡幅事業	1	2	67.61	4,268,341	1	3,276,410	
市道幹線Ⅱ-5号線 歩道設置事業	2	2	144.43	76,547,900	2	3,846,579	
市道幹線Ⅱ-13号線 改良事業	2	4	44.38	11,301,830	1	1,358,982	
市道第1036号線 拡幅事業					1	97,850	
合 計	61	82	3,912.86	1,233,208,327	19	90,371,319	